

斜め回転体の体積の求め方を2つ

問題

放物線 $y = \frac{x^2}{\sqrt{2}} - x$ と直線 $y = x$ で囲まれた部分を、直線 $y = x$ の周りに1回転させてできる

立体の体積 V を求めよ。

解法 1

解法のポイント

1. 回転軸の傾きが 45° ($y=x$) だから、直角二等辺三角形の性質を利用して要領よく処理する。

2. 回転軸上の位置を t とし、回転半径を $r(t)$ で表すと、 $\alpha \leq t \leq \beta$ のとき $V = \pi \int_{\alpha}^{\beta} \{r(t)\}^2 dt$

ここで、 $r(t)=v(x)$ 、 $t=u(x)$ 、また、 $t=u(x)$ から $t=\alpha \Rightarrow x=p$ 、 $t=\beta \Rightarrow x=q$ とすると、

$$V = \pi \int_{\alpha}^{\beta} \{r(t)\}^2 dt = \pi \int_p^q \{v(x)\}^2 \{u(x)\}' dx$$

解

$$y = \frac{x^2}{\sqrt{2}} - x \text{ と } y = x \text{ の交点は、連立方程式 } \begin{cases} y = \frac{x^2}{\sqrt{2}} - x \\ y = x \end{cases} \text{ の解より、} (x, y) = (0, 0), (2\sqrt{2}, 2\sqrt{2})$$

したがって、点 $P\left(x, \frac{x^2}{\sqrt{2}} - x\right)$ から $y=x$ に下ろした垂線の足を H 、 $OH=t$ とすると、

$$0 \leq t \leq 4 \text{ より、} V = \pi \int_0^4 PH^2 dt \quad \dots \textcircled{1}$$

ここで、点 $Q(x, x)$ とすると、

$$\triangle PHQ \text{ は } \angle H = 90^\circ \text{ の直角二等辺三角形だから、} PH = \frac{PQ}{\sqrt{2}} = \frac{x - \left(\frac{x^2}{\sqrt{2}} - x\right)}{\sqrt{2}} = \sqrt{2}x - \frac{x^2}{2}$$

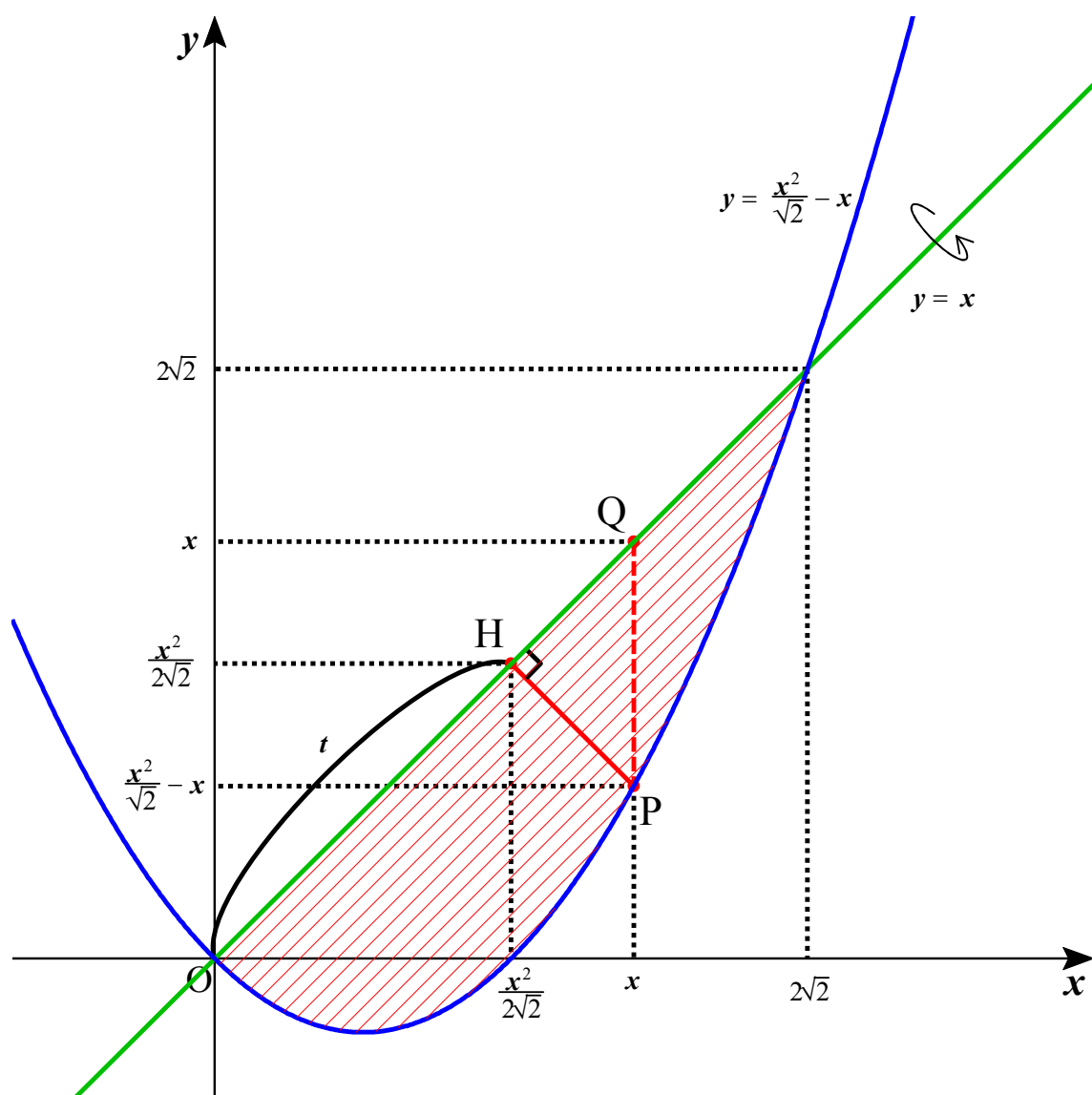
$$\text{また、} H \text{ の } x \text{ 座標は、} x - \frac{PH}{\sqrt{2}} \text{ より、} \frac{x^2}{2\sqrt{2}} \quad \therefore OH = \sqrt{2} \cdot \frac{x^2}{2\sqrt{2}} = \frac{x^2}{2}$$

$$\text{これと } OH = t \text{ から、} t = \frac{x^2}{2} \quad \therefore dt = x dx \quad \dots \textcircled{2}$$

$$\text{また、} t = 4 \Rightarrow x = 2\sqrt{2}, t = 0 \Rightarrow x = 0 \quad \dots \textcircled{3}$$

よって、①、②、③より、

$$\begin{aligned} V &= \pi \int_0^4 PH^2 dt \\ &= \pi \int_0^{2\sqrt{2}} \left(\sqrt{2}x - \frac{x^2}{2}\right)^2 x dx \\ &= \pi \int_0^{2\sqrt{2}} \left(2x^3 - \sqrt{2}x^4 + \frac{x^5}{4}\right) dx \\ &= \pi \left[\frac{x^4}{2} - \frac{\sqrt{2}}{5}x^5 + \frac{x^6}{24} \right]_0^{2\sqrt{2}} \\ &= \frac{32}{15}\pi \end{aligned}$$



解法 2

解法のポイント

曲線と直線を $-\frac{\pi}{4}$ 回転移動すると、直線 $y=x$ は x 軸に移動する。

また、移動後の曲線を媒介変数 t を用いて $(x, y) = (v(t), u(t))$ で表されたとすると、求める体積は曲線 $(x, y) = (v(t), u(t))$ を x 軸の周りに 1 回転してできる立体の体積と等しい。

$$V = \pi \int_{\alpha}^{\beta} y^2 dx = \pi \int_p^q \{u(t)\}^2 v'(t) dt$$

回転移動の原理

原点を O とする xy 直交座標平面上の任意の点を $P(x, y)$, $OP = r \left(r = \sqrt{x^2 + y^2} \right)$,

OP と x 軸正方向とのなす角を α とすると, $(x, y) = (r \cos \alpha, r \sin \alpha)$

よって, 点 P を O のまわりに θ 回転移動した点を $Q(X, Y)$ とすると,

$$\begin{aligned} (X, Y) &= (r \cos(\alpha + \theta), r \sin(\alpha + \theta)) \\ &= (r \cos \alpha \cos \theta - r \sin \alpha \sin \theta, r \sin \alpha \cos \theta + r \cos \alpha \sin \theta) \\ &= (x \cos \theta - y \sin \theta, y \cos \theta + x \sin \theta) \\ &= (x \cos \theta - y \sin \theta, x \sin \theta + y \cos \theta) \end{aligned}$$

解

$y=x$ を原点のまわりに $-\frac{\pi}{4}$ 回転移動すると, $y=0$ (x 軸) \cdots ① となる。

また, (x, y) を原点のまわりに $-\frac{\pi}{4}$ 回転移動した点を (X, Y) とすると,

$$\begin{aligned} X &= x \cos\left(-\frac{\pi}{4}\right) - y \sin\left(-\frac{\pi}{4}\right) \\ &= \frac{x}{\sqrt{2}} + \frac{y}{\sqrt{2}} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} Y &= x \sin\left(-\frac{\pi}{4}\right) + y \cos\left(-\frac{\pi}{4}\right) \\ &= -\frac{x}{\sqrt{2}} + \frac{y}{\sqrt{2}} \end{aligned}$$

だから,

$y = \frac{x^2}{\sqrt{2}} - x$ 上の点 $\left(t, \frac{t^2}{\sqrt{2}} - t\right)$ を原点のまわりに $-\frac{\pi}{4}$ 回転移動した点は

$$\left(\frac{t}{\sqrt{2}} + \frac{1}{\sqrt{2}}\left(\frac{t^2}{\sqrt{2}} - t\right), -\frac{t}{\sqrt{2}} + \frac{1}{\sqrt{2}}\left(\frac{t^2}{\sqrt{2}} - t\right)\right) = \left(\frac{t^2}{2}, \frac{t^2}{2} - \sqrt{2}t\right) \text{ となる。}$$

したがって、 $y = \frac{x^2}{\sqrt{2}} - x$ を原点のまわりに $-\frac{\pi}{4}$ 回転移動した曲線の媒介変数表示は

$$x = \frac{t^2}{2}, y = \frac{t^2}{2} - \sqrt{2}t \quad \dots \textcircled{2}$$

①, ②より, 曲線②と x 軸で囲まれた部分を x 軸の周りに 1 回転してできる立体の体積も V となるから, この体積を求めればよい。

ここで, ②について, $y = \frac{t^2}{2} - \sqrt{2}t = \frac{t}{2}(t - 2\sqrt{2})$ より, $0 \leq t \leq 2\sqrt{2}$ のとき $y \leq 0$,

$t = 0 \Rightarrow x = 0, t = 2\sqrt{2} \Rightarrow x = 4, dx = t dt$ だから,

求める体積は

$$\begin{aligned} V &= \pi \int_0^4 y^2 dx \\ &= \pi \int_0^{2\sqrt{2}} \left(\frac{t^2}{2} - \sqrt{2}t \right)^2 t dt \\ &= \pi \int_0^{2\sqrt{2}} \left(\frac{t^5}{4} - \sqrt{2}t^4 + 2t^3 \right) dt \\ &= \pi \left[\frac{t^6}{24} - \frac{\sqrt{2}}{5} t^5 + \frac{t^4}{2} \right]_0^{2\sqrt{2}} \\ &= \frac{32}{15} \pi \end{aligned}$$

補足: $y = \frac{x^2}{\sqrt{2}} - x$ を原点のまわりに $-\frac{\pi}{4}$ 回転移動した曲線の式を x, y で表してみる。

回転移動の原理 (<http://www.toitemita.sakura.ne.jp/4step/n4step3-8-1.pdf> 20 ページ参照)

原点を O とする xy 直交座標平面上の任意の点を $P(x, y)$, $r = \sqrt{x^2 + y^2}$,

OP と x 軸正方向とのなす角を, 反時計回りを正とし, α とすると,

$$(x, y) = (r \cos \alpha, r \sin \alpha)$$

したがって, 点 P を O のまわりに θ 回転移動した点を点 $Q(X, Y)$ とすると,

$$\begin{aligned} (X, Y) &= (r \cos(\alpha + \theta), r \sin(\alpha + \theta)) \\ &= (r \cos \alpha \cos \theta - r \sin \alpha \sin \theta, r \sin \alpha \cos \theta + r \cos \alpha \sin \theta) \\ &= (x \cos \theta - y \sin \theta, y \cos \theta + x \sin \theta) \\ &= (x \cos \theta - y \sin \theta, x \sin \theta + y \cos \theta) \end{aligned}$$

点 P は点 Q を O のまわりに $-\theta$ 回転移動した点だから,

$$\text{これより, } (x, y) = (X \cos \theta + Y \sin \theta, -X \sin \theta + Y \cos \theta)$$

点 P は点 Q を O のまわりに $-\theta$ 回転移動した点だから,

$$\text{これより, } (x, y) = (X \cos \theta + Y \sin \theta, -X \sin \theta + Y \cos \theta)$$

$$\theta = -\frac{\pi}{4} \text{ より, } (x, y) = \left(\frac{X}{\sqrt{2}} - \frac{Y}{\sqrt{2}}, \frac{X}{\sqrt{2}} + \frac{Y}{\sqrt{2}} \right)$$

$$\text{これと } y = \frac{x^2}{\sqrt{2}} - x \text{ より, } \frac{X}{\sqrt{2}} + \frac{Y}{\sqrt{2}} = \frac{1}{\sqrt{2}} \left(\frac{X}{\sqrt{2}} - \frac{Y}{\sqrt{2}} \right)^2 - \left(\frac{X}{\sqrt{2}} - \frac{Y}{\sqrt{2}} \right)$$

これを整理し, X, Y をそれぞれ x, y に書き替えると, $(x-y)^2 - 4x = 0$ となる。

また, これより, $y = x \pm 2\sqrt{x}$ が得られるから,

これと x 軸で囲まれた部分を x 軸の周りに 1 回転してできる立体の体積を求めてもよい。

しかし, 媒介変数曲線で扱うほうが楽に求積できるので, この求積は省略した。

